

# 青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成27年度 第122号 11月1日  
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

10月に小中学校の先生方が教育視察研修に、保育園では公開保育と勉強会が行われました。教育視察研修では上越市の2つの小学校にお邪魔しました。公開保育では、近隣の市町村から大勢の保育士の先生方がお見えになりました。その様子をお知らせします。



## ●上越市での教育視察研修について●

教育委員会 植田 瑞穂

10月5日に小学校の先生18名、中学校の先生2名、教育委員会3名で上越市に教育視察研修へ行ってきました。上越市では発達障害通級指導教室に力を入れており、今回は大手町小学校と春日新田小学校にお邪魔しました。今回の研修では、大手町小では総合学習を、春日新田小では発達障害通級指導教室のノウハウを先生方と共に私も勉強させていただきました。



なぜ、今回総合学習の勉強会として研修へ行かせていただいたかというと、全ての子にわかりやすい授業を行うためです。青木村では、インクルーシブ教育・ユニバーサルデザインを3年前から推進しています。インクルーシブ教育とは、小学校や中学校(青木村では、保育園も含まれています)の段階でどんな子も一緒に学校生活を送ろうという教育方法のことを言います。またユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍の違い・能力など老若男女問わず誰でも理解できる環境を整えようとするものです。また、発達障害通級指導教室

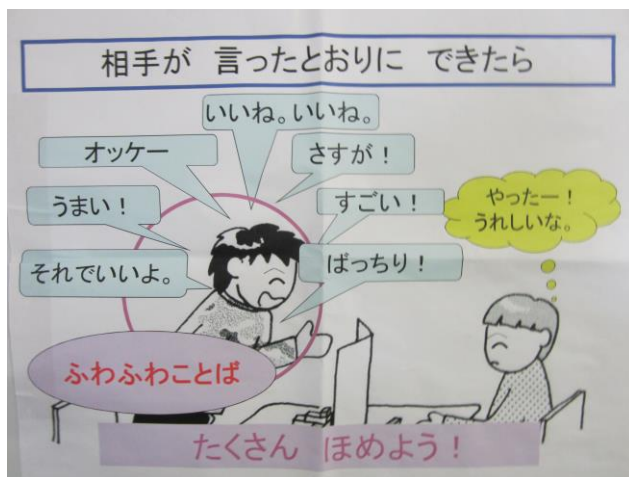
と聞くとうちの子には関係ないと思われるお父さん、お母さんも多いかもしれません。ただ、「うちの子少し集中しにくいかもしれない…」「なんでこんなに忘れ物が多いのかな?」「授業中にうろうろしているけどどうして?」「どうしてみんなと同じ事が出来ないのかな?」など発達障害という名前がつかなくても学校で過ごしにくく、困っている子は全国的に見ても少なくありません。そのような子は、問題のある子という認識で捉えられてしまう事も多いと思います。自分でもどうしようもないのに先生に怒られてしまい、自尊心が低くなり学校に行きたくない、友達にバカにされてしまうということは全国的に起こっているということが現実としてあります。しかし、実際にはそのような行動をしなければならない子というのは、その子自身も苦しんでいることが多いのです。そのような子が少しでも学校で過ごしやすくするために、今回の研修が役立つのではないかと思います。



春日新田小学校の発達障害通級指導教室の授業構成としては、①学校での生活スキル(発表の仕方、発表の聞き方等)、②実際に習ったスキルを使っての発表、③友達との関わり方となっています。少人数で、集中しやすい環境で授業を行っていました。通級指導教室では子どもを褒めるということを徹底して行っていました。どんなに些細なことでも出来たら褒めます。通級指導教室では、間違っただけをしても注意されることはありません。間違っただけをしても、その間違えたことを直すことが出来たら褒められます。褒められることで子ども達はやる

気を出し、がんばれるようになっていきます。

お父さん、お母さん自分のお子さんを褒めていますか?子どもはとても繊細です。お父さん、お母さんの些細な一言で自信がついたり、逆にやる気をなくしたりします。お子さんにかかる言葉にはぜひ気を遣ってあげて下さい。



## ●青木村保育園で公開保育が行われました●

青木村保育園支援担当 西澤 智恵子

この公開保育は、上田地域定住自立圏共生ビジョンの「きめ細やかな保育環境の確立に向けた取り組み」の一つで平成 24 年度から行われています。更にこの他の取り組みには発達支援担当保育士学習会・児童発達支援センターでの研修・保育職員に対する研修（講演会）などがあります。

10月14日（水）公開保育当日はお天気にも恵まれ、上田市・東御市・長和町・立科町から来られた 50 名余りの保育士の先生方に、ちゅーりっぷ組は「おもちゃ遊び」、つくし組は「素敵な靴の製作遊び」、すみれ組は「ケンケン遊び」、年中組・年長組はあおきっこ広場で「忍者の修行遊び」を参観して頂きました。どの年齢も、子どもたちひとりひとりが楽しそうに活動する姿が見られました。



公開保育の後は会場を文化会館に移し、参観して頂いた保育についての研究会と青木村教育長の沓掛先生による講演会、分散会が行われ、子どもたちへの関わり方について勉強会をしました。

講演会では「青木村の目指す、インクルーシブ教育システム」の演題でお話しして頂きました。その内容は、平成 24 年度より巡回支援体制を整備し、関係者が連携を密にしてきめの細かい支援につなげていることや研修会等での学びは職員間で共有し職員全体の専門性の向上につなげていることについてでした。

また、毎年行われる子育てフォーラムでは、保小中一貫教育の取り組みについて参加者と一緒に話し合う場があり、「青木村全体で子どもたちを育てている」「誰にでもわかりやすい保育や教育を目指し保小中の職員が連携して取り組んでいる」「その子らしさを育てるという事は、その子らしさを認めると共にそうせざるを得ないその子の理由を考えていく事が大切である」というお話を伺いました。この研修会で私たち保育士は日頃の保育を改めて見直し確認すると共に、目の前の子どもの姿をよく見て気持ちを理解し代弁しながら寄り添っていくことで、その子の自己肯定感を高め、結果として心を育てることにもつながっていくのではないかと学びました。

保護者の皆様、公開保育当日は半日保育にご協力いただき本当にありがとうございました。今回の学びを明日からの保育に生かして参りたいと思います。

## はつらつ先生 IN あおき

今回は、青木中学校3年B組担任 **竹内 文明** 先生です。

- 好きな食べ物…湿気た煎餅。買って2、3日封を開けておいてから食べます。その食感がたまりません。それと、硬い甘柿が好きです。好きな食べ物ではありませんが、健康のために毎日モズクを食べ



ています。納豆やヨーグルトもよく食べます。医者には、体のためには運動するか食べ物に気を付けるかと言われ、私は食べ物を選びました。



- 苦手な食べ物…トマトジュースが苦手です。昔はレーズンが苦手でしたが、今は食べられます。



- 趣味…里山登り。上小佐久周辺はほとんど登りました。お昼をもって登り、帰りには温泉に入ってきます。あとプロ野球観戦です。好きな球団は巨人ですが、観戦は巨人に限らず、旅行を兼ねて全国の球場に行きます。
- どんな子どもでしたか？…おとなし目だったと思います。中学の頃、テスト前でも友だちを家に呼んで麻雀をしていました。でも学校では、優等生でした。

- 先生にならなかったら？…千曲バスの運転手です。バス同士がすれ違う時に運転手さんが手を挙げて挨拶するのが、とてもかっこよかったです。弟とバスに乗る時、2人で前の席に座り運転手さんと一緒に手を挙げていました。家でも運転手さんごっこをしていました。



- 好きな有名人は？…広島カープの元監督、古葉竹識さんです。監督の「耐えて勝つ」の言葉がその後の自分の座右の銘になりました。とても尊敬する人です。それと菊池桃子が好きで壁にポスターを貼っていました。
- お休みの日は何をしていますか？…ラーメンやそばを食べに行きます。家にいるときは、吹奏楽関係の音楽を聞いたりしています。春と秋には、コゴミや雑キノコを採りに山に行きます。

### 編集後記

今年は、11月28日(土)8:40から文化会館で「子育てフォーラム2015」を開催します。満1歳から未就学児は保育園で託児があり、小中学生は信大生のイベントに参加することができます。分科会では、体操あり、井戸端会議ありの楽しい企画が盛りだくさんです。大勢の皆さんの参加をお待ちしております。